

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	年次	1年次
使用教科書 (出版社)	『現代の国語』(数研出版)						
副教材等 (出版社)	『音訓別 重要頻出漢字リアルマスター3300』(尚文出版) 『改訂版 プレミアムカラー国語便覧』(数研出版)						

### 1. 担当者から生徒へのメッセージ

いわゆる現代文学習です。それを通じて人間の普遍性や個性、社会や精神世界の在り方に触れて、それを受信して理解する経験や、発信して他者と共有する経験を持つこと、を一つの目標と考えています。それらを通じて自己を成長させる力を身につけていきたいですね。

### 2. 学習の到達目標

多様な文章を読むことを通じて、実社会に存在するさまざまな問題に対する高い見識を身につけるとともに、豊かな感受性を養い、より良い人生を生きるための基礎的な力を高める。しっかりした読解力とそれを支える語彙力、教養を身につけ、論理的な思考能力を養う。適切で豊かな表現力を身につけ、他者に発信する力を養う。

### 3. 評価の観点と評価方法

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙や修辞、作品の背景や文学の歴史的背景など、読解の基礎として必要な知識を獲得しているか。	文章を読み味わい、論点や要旨を的確に把握する読解ができているか。論理的にものごとを考え、自分の考えを表現することができるか。	主体的に文章から物事を学び、自らの成長に繋げる姿勢を持っているか。
評 価 方 法	個別の知識を問う問題(定期テスト、小テストなど)	記述問題(定期テスト、小テストなど) 発表、提出レポート、創作物など	授業や発表などに取り組む姿勢、振り返りシートなど

#### 4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	山崎正和『水の東西』 鷲田清和『他者を理解するということ』 原研哉『白』
2 学期	内山節『時間と自由の関係について』 鈴木孝夫『ものことば』 梶井厚志『「わらしべ長者」の経済学』
3 学期	山際寿一『感情暴走社会の由来』 柳澤桂子『命は誰のものなのか』

#### 5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

<input type="checkbox"/> 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
<input checked="" type="checkbox"/> 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
<input type="checkbox"/> 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
<input checked="" type="checkbox"/> 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
<input type="checkbox"/> 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
<input checked="" type="checkbox"/> 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	年次	1年次
使用教科書 (出版社)	東京書籍「精選言語文化」						
副教材等 (出版社)	数研出版『体系古典文法（九訂版）』 尚文出版『新明説漢文』 数研出版『国語便覧』						

### 1. 担当者から生徒へのメッセージ

この授業では、いわゆる古典作品（古文・漢文）を読んでいます。古典とはいっても、そこに表現された人々の感性は、現代を生きる我々にも十分通じるような普遍的なものです。作品を読み、感じたことや考えたことを共有する機会も多く作る予定です。そのために、基本的な古典の文法事項や語句を繰り返し学習し、しっかりと身につけていきましょう。小テストや授業内課題にも丁寧に取り組んでください。

なお、4に掲載する作品に関しては4月時点での予定であり、皆さんの様子を見ながら適宜変更する可能性があります。

### 2. 学習の到達目標

- ・各時代の社会背景を踏まえた文章読解ができる。
- ・時代を超えて普遍的に表現される人間の心情を理解し、共感する心を持つ。
- ・言語の基本的な文法を理解する。
- ・古典が日本文化に与えた影響とそれが現代にも息づく言語文化に関心を持つ。

### 3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。
評 価 方 法	定期考査、小テストなど	定期考査、提出物（授業中の課題）など	提出物（授業中の課題、ノート、レポート）など

#### 4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	【古文】『宇治拾遺物語』、『枕草子』、古典文法（用言）
2 学期	【古文】『伊勢物語』、古典文法（助動詞）【漢文】漢詩
3 学期	【漢文】『論語』『十八史略』

#### 5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- |  |
|--|
| <p><input type="checkbox"/> 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 他者に対する表現力や他者との協働性の育成</p> <p><input type="checkbox"/> 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成</p> <p><input type="checkbox"/> 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成</p> |
|--|

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2	年次	2
使用教科書 (出版社)	東京書籍『文学国語』						
副教材等 (出版社)	大修館『ビジュアルカラー国語便覧』(副教材) 第一学習社『頻出漢字 3000』(副教材) 他プリント教材など						

### 1. 担当者から生徒へのメッセージ

- ・ 2年生では1年次に身につけた基礎的な国語力をさらに発展させることを心がけましょう。
- ・ 様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を誤解なく伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

### 2. 学習の到達目標

文章を読み味わい、論点や要旨を的確に把握する読解ができているか。  
主体的に文章から物事を学び、自らの成長に繋げる姿勢を持っているか。  
論理的にものごとを考え、自分の考えを表現することができるか。

### 3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	伝統的な言語運用能力及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
評 価 方 法	行動の観察 提出物 (ノート、ワークシート等) 定期考査	行動の観察 提出物 (ノート、ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)

### 4. 学習の活動

学期	学習内容 (単元・項目)
1 学期	<p>&lt;項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。</li> <li>○文章の種類を踏まえて内容や構成、展開の仕方を的確に捉える。</li> </ul> <p>&lt;単元&gt;</p> <p><b>【評論】</b></p> <p>内田樹『胆力について』 寺田寅彦『化物の進化』</p>

	<p><b>【小説】</b> 中島敦『山月記』</p>
2学期	<p>〈項目〉</p> <p>○文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。</p> <p>○人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方を豊かにする読書の意義と効用についての理解を深めること。</p> <p><b>【評論】</b> 小川洋子『死者の声を運ぶ小舟』</p> <p><b>【小説】</b> 夏目漱石『こころ』 阿部公房『鞆』『赤い繭』</p>
3学期	<p>〈項目〉</p> <p>○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開描写の仕方を的確にとらえること。</p> <p>○修辞の働きに考慮して読み手を引き付ける文章を書けること。</p> <p><b>【評論】</b> 丸山真男『であることとすること』 加藤周一『文学の仕事』</p> <p><b>【詩歌】</b> 現代短歌より数首</p>

## 5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成<br><input checked="" type="checkbox"/> 他者に対する表現力や他者との協働性の育成<br><input type="checkbox"/> 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得<br><input type="checkbox"/> 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成<br><input checked="" type="checkbox"/> 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成<br><input checked="" type="checkbox"/> 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成 |
|---|

教科	国語	科目	古典探求	単位数	2	年次	2
使用教科書 (出版社)	筑摩書房『古典探求 古文編』 筑摩書房『古典探求・漢文編』						
副教材等 (出版社)	数研出版「体系古典文法」						

### 1. 担当者から生徒へのメッセージ

いわゆる古典学習です。それを通じて人間の普遍性や個別性、社会や精神世界の在り方に触れることを通じて自己を成長させる力を身につけていきたいですね。そのための語彙や文法事項、表現技法などの知識を蓄えていきましょう。そうして日本人や日本語の歴史の変遷にも思いをはせ、現代の自己理解に繋がれば幸いです。

なお、4に掲載する作品に関しては4月時点での予定であり、皆さんの様子を見ながら適宜変更する可能性があります。

### 2. 学習の到達目標

- ・類義語、派生語、現代語とのつながり等を意識しながら、古文単語の意味を理解し、解釈に結びつける。
- ・古典文法の知識を活用し、本文の正確な読解をした上で、作者・筆者の思想や感情を的確にとらえる。
- ・漢文の句法の知識を身につけ、文章の構造にも注意しながら、正確な読解ができるようにする。
- ・古代～近代の文学や文化、思想などに興味を持ち、現代へのつながりを意識し、人間の普遍性に対する理解を深める。

### 3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・語意、文法、句法、 古典常識の知識を身につけ、正確な読解に結び付けられているか。 ・展開や表現の意図、 特色、他の作品との関係（文学史）を理解できているか。	・感じたこと、考えたことを他者と共有することにより、作品への分析的読みをより深めることができているか。	左記のような活動を通して人間理解を深めることができているか。
評 価 方 法	小テストなどによる個別の知識の確認。定期 考査。	個別の知識の融合とその 発展としての記述問題。 作品への理解を深めたことを表す感想文・創作。	宿題やノートなどの提出、 発表等。 解釈や創作物の閲覧・相互 評価の態度

#### 4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	【古文】『十訓抄』『今昔物語集』『徒然草』 【漢文】漢詩、史伝『史記』本紀
2 学期	【古文】『枕草子』『更科物語』『平家物語』 【漢文】『論語』『孟子』『韓非子』など
3 学期	【古文】『源氏物語』 【漢文】故事・逸話、文章など

#### 5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2	年次	3
使用教科書 (出版社)	筑摩書房『文学国語』						
副教材等 (出版社)	数研出版『プレミアムカラー国語便覧』						

### 1. 担当者から生徒へのメッセージ

いわゆる現代文学習です。それを通じて人間の普遍性や個別性、社会や精神世界の在り方に触れて、それを受信して理解する経験や、発信して他者と共有する経験を持つこと、を一つの目標と考えています。それらを通じて自己を成長させる力を身につけていきたいですね。

### 2. 学習の到達目標

多様な文章を読むことを通じて、実社会に存在するさまざまな問題に対する高い見識を身につけるとともに、豊かな感受性を養い、より良い人生を生きるための基礎的な力を高める。しっかりした読解力とそれを支える語彙力、教養を身につけ、論理的な思考能力を養う。適切で豊かな表現力を身につけ、他社に発信する力を養う。

### 3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙や修辞、作品の背景や文学の歴史的背景など、読解の基礎として必要な知識を獲得しているか。	文章を読み味わい、論点や要旨を的確に把握する読解ができているか。論理的にものごとを考え、自分の考えを表現することができるか。	主体的に文章から物事を学び、自らの成長に繋げる姿勢を持っているか。
評 価 方 法	個別の知識を問う問題（定期テスト、小テストなど）	記述問題（定期テスト、小テストなど） 発表、提出レポート、創作物など	授業や発表などに取り組む姿勢、振り返りシートなど

### 4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1学期	隠れん坊の精神史 陰影礼賛 「である」ことと「する」こと
2学期	舞姫 骨とまぼろし 資本主義と人間 トランジット
3学期	文学の仕事 美神

## 5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2	年次	3年次
使用教科書 (出版社)	大修館書店『古典探究古文編』『古典探究漢文編』						
副教材等	数研出版『プレミアムカラー国語便覧』 啓隆社『高校生の古典文法（七訂版）』 数研出版『体系漢文』						

### 1. 担当者から生徒へのメッセージ

現代がめまぐるしく移り変わりゆく社会と言われ久しくなってきたが、その中で千年以上残り続ける古典文学の力について考えたい。古典文学がそれぞれの時代の社会でどのように受容・解釈・評価されたか。そして社会にどのような影響を与えたか。その活動を通して、読む力を育てるだけでなく、思考し話し、自分では気づかなかつた、現代のたった十数年で培った自分の価値観に気づいてもらうことを願う。使用する教材は生徒の様子を見て予定から適宜変更する可能性がある。

### 2. 学習の到達目標

- ・古典文法の知識を活用し、本文の正確な読解をした上で、作者・筆者の思想や感情を的確にとらえる。
- ・漢文の句法の知識を身につけ、文章の構造にも注意しながら、正確な読解ができるようにする。
- ・古代～近代の文学や文化、思想などに興味を持ち、現代へのつながりを意識し、人間の普遍性に対する理解を深める。
- ・それぞれの時代の価値観を尊重することと、現代の価値観で批評することの双方を意識して行うことができる。

### 3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語意、文法、句法、古典常識の知識を身につけ、正確な読解に結び付けられているか。</li> <li>・展開や表現の意図、特色、他の作品との関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたこと、考えたことを他者と共有することにより、作品への分析的読みをより深めることができているか。</li> <li>・自分の考えが変容したかどうか、またその様相</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。</li> </ul>

	係（文学史）を理解できているか。	を客観的にとらえ、言語化することができる。	
評価方法	小テスト 定期考査	提出物	提出物

#### 4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1学期	『無名抄』『枕草子』『大鏡』老子 墨子
2学期	『古今著聞集』『和泉式部日記』『紫式部日記』『三冊子』 『十八史略』『唐宋八家文読本』
3学期	『雨月物語』『白氏文集』

#### 5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

<input type="checkbox"/> 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成 <input checked="" type="checkbox"/> 他者に対する表現力や他者との協働性の育成 <input type="checkbox"/> 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得 <input type="checkbox"/> 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成 <input checked="" type="checkbox"/> 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成 <input checked="" type="checkbox"/> 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成
---